

環境厚生常任委員会

日 時 令和2年11月11日（水）
午前10時00分 ～
場 所 全員協議会室

1 開 議

2 行政報告

- （１）ガレリアかめおか子どものあそび場整備事業（エイジレスセンター内）について
（こども未来部）
- （２）環境政策情報発信・交流拠点施設の整備（案）について
（環境市民部）
- （３）盲導犬が育つまち応援交付金について（健康福祉部）

3 その他

環境厚生常任委員会

ガレリアかめおかエイジレスセンター内
「こどものあそびば」整備事業について

令和2年11月11日（水）

こども未来部子育て支援課

ガレリアかめおかエイジレスセンター内
「こどものあそびば整備事業」について

1 目 的

本市では、「子ども・子育て支援事業計画」に基づき、子育て支援施策を推進しているところですが、同計画の改定にあたり平成30年度に行った市民アンケートにおいては、「雨の日に遊べる場所がない」、「遊具などの種類が充実していない」などのご意見が多く、子育て世代の居場所づくりが課題となっていたところです。

このことから、この課題の解消につながる事業としまして、小城製薬株式会社様の御協力（企業版ふるさと納税制度の活用）により、現在、「令和2年度こどものあそびば整備事業」を実施中です。

このたび、「こどものあそびば」の整備完了にともない、オープニングセレモニーを行い、あそびばをオープンいたします。

2 日 時 令和2年12月21日（月） 午前10時から（30分から40分程度）

3 場 所

ガレリアかめおか1階 エイジレスセンター内

4 オープニングセレモニーの内容（予定）

- ・あいさつ（主催者等）
- ・寄附事業完成記念 披露
- ・プレオープン（亀岡市立第六保育所在園児童 招待）
- ・閉式後、正式オープン

5 公表、周知

市長定例記者会見（11月20日）にて発表するとともに、キラリかめおかお知らせ及び市HP等に掲載し、周知を行います。

6 整備概要

◎整備面積：約595㎡

◎整備概要：大型遊具をはじめとした各種遊具、知育玩具、絵本などを、子どもの成長段階に合わせてエリアごとに配置（資料2 完成予定図を参照）

◎整備金額：約36,000千円（企業版ふるさと納税制度の活用）

◎整備業者：株式会社ボーネルンド大阪営業所



令和2年亀岡市議会

令和2年11月11日

環境厚生常任委員会資料

環境市民部環境政策課

～ 次 第 ～

■環境政策情報発信・交流拠点施設の整備（案）について

設置目的

亀岡市は、2018年12月13日、亀岡市議会とともに「かめおかプラスチックごみゼロ宣言」を発信しました。この宣言では、「自然環境の保全と地域経済の活性化に一体的に取り組む『世界に誇れる環境先進都市』を実現する。」と掲げており、「海洋汚染問題に立ち上がる意識のつながりを呼びかける」ことや、「世界最先端の『環境先進都市・亀岡』のブランド力向上」を目指すことを目標に定めています。この目標を達成するため、各種施策を広く発信するとともに、「環境」の下に多くの人々が集い、交流し、つながることで「環境先進都市・亀岡」が世界に広がることを目的とした拠点施設を設置するものです。

基本構想

目的を実現するため、次の4つの機能を持った施設を整備します。

【創業支援機能】亀岡市内で生まれる環境関連事業の支援を目的に、貸しスペースの提供などによる「インキュベーション※1」を行う。

【情報発信機能】亀岡から生まれたアップサイクル※2製品である「HOZU BAG」をはじめとする、環境に配慮したイノベーション※3製品を発信するための「ワークショップ※4」や「テストマーケティング※5」を行う。

【交流拠点機能】眼前を流れる「母なる川 保津川」から環境に思いを巡らせ、人々が集い語り合う交流の場を設置する。

【活動拠点機能】環境関連団体などの活動拠点となる、リモートワーク※6が可能な「コワーキングスペース※7」を設置する。

施設概要

拠点施設は、本市の環境施策の源流となる「母なる川 保津川」が眼前に広がる絶好のロケーションにあって、亀岡の玄関口であるJR亀岡駅、令和2年に新たに誕生した集客施設であるサンガスタジアム by KYOCERA、本市の三大観光の一つである保津川遊船をつなぐ動線上に整備を計画しています。

【土地】

所在地 亀岡市保津町下中島 59-1

地目 宅地

地籍 175.20㎡

【建物】※大規模改修または建て替えを要す

構造 鉄骨造ルーフィング葺3階建

床面積 1階：110.85㎡

2階：113.13㎡

3階：110.85㎡



※1 インキュベーション…新たなビジネスを育てること ※2 アップサイクル…使わなくなったものに、デザインなどの付加価値を持たせ、新しい製品に生まれ変わらせること ※3 イノベーション…革新・一新 ※4 ワorkshop…体験型講習会 ※5 テストマーケティング…試験販売 ※6 リモートワーク…遠隔勤務 ※7 コワーキングスペース…共同で仕事をする場所

【現況写真】



環境厚生常任委員会 提出資料

健康福祉部障がい福祉課

令和2年11月11日

盲導犬が育つまち応援交付金について

健康福祉部障がい福祉課

1 趣旨・目的

亀岡市に住む視覚障がいのある人で外出支援にあたり、人に頼らず、自立したいという意思を尊重するためには、盲導犬が必要であり、亀岡市で盲導犬を育成している公益財団法人関西盲導犬協会の活動を応援するため、ふるさと納税を活用し、いただいた寄附金の 7 割相当を公益財団法人関西盲導犬協会事業に交付金として交付します。

2 創設経緯

公益財団法人関西盲導犬協会は、1980年に任意団体として発足されました。その後、1988年に盲導犬訓練センターを創設され、現在まで盲導犬の訓練・育成施設として活動をされています。

同様の施設は全国でも11ヶ所しかなく、近畿に3ヶ所、京都府下では、本市に存在するのみであります。

協会の事業運営については、そのほとんどを寄付や募金に頼っておられます。

近年、災害の発生が多くなっており、寄付をされる方については自然災害等の復興に対してされることが多く、大きな災害があった年などは関西盲導犬協会への寄付が少なくなる傾向にあります。

加えて今年は、新型コロナウイルスの影響で、街頭募金活動や講演会、啓発イベント等が軒並み中止せざるを得ず、収入が減少しています。

そこで本市としましても、全国的に数少ない事業所であり、その内容は公共の福祉、特に障がい者支援に寄与することから、盲導犬育成にかかる施策としてふるさと納税による交付金制度を活用し、支援するため、「盲導犬が育つまち応援交付金」制度を創設します。

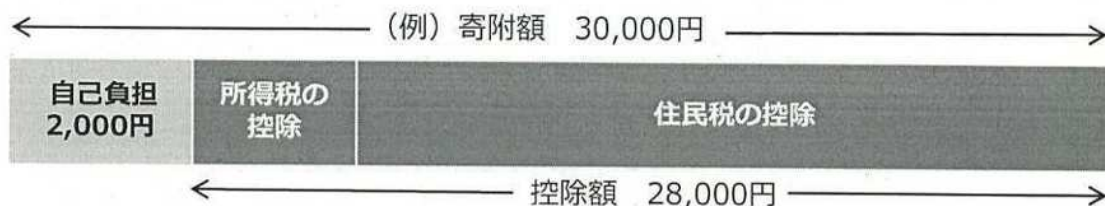
3 交付金の使途

協会の運営及び協会が実施する事業に要する経費に充当することができます。ただし、役員報酬・食糧費等への充当は除外とします。

ふるさと納税を活用した 盲導犬が育つまち応援交付金について

①ふるさと納税とは

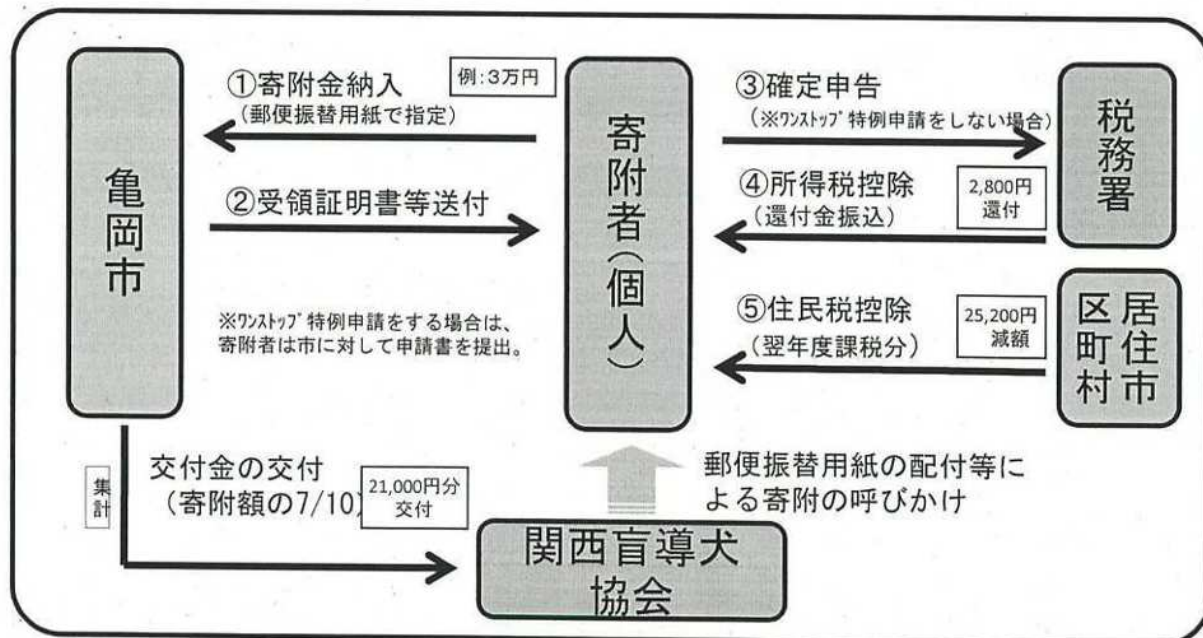
寄附を行った場合、寄附額のうち2,000円を超える部分が税金から控除される制度。（所得等により一定の上限あり）



②ふるさと納税を活用した地域応援交付金

亀岡市に対して、指定して寄附する制度。
寄附額の10分の7を「交付金」として交付します。
（寄附者はふるさと納税の税控除が受けられます。）

※市内・市外者とも、返礼品の贈呈はありません。（郵便振替用紙で募集）



（注）上記の表示金額は例示であり、適用される所得税率等により実際の控除額は異なります。

【お問い合わせ】

◆ふるさと納税制度について

亀岡市市長公室ふるさと創生課 Tel0771-25-5060 MAIL:furusato-sousei@city.kameoka.lg.jp

◆（仮）盲導犬が育つまち応援交付金制度について

健康福祉部障がい福祉課 Tel0771-25-5031 MAIL:@syougai-fukusi@city.kameoka.lg.jp